



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応

2024年2月14日

ローランド株式会社

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応① 現状認識

いずれの指標も東証プライム上場企業平均¹を大きく上回る高い水準（2023年12月期）

ROE	ROIC	PBR
22.2%	17.2%	3.04x

電子楽器ビジネス

大きな投下資本不要。高い効率性

×

徹底した見える化

迅速な経営判断と危機対応力

ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本（期首期末平均）

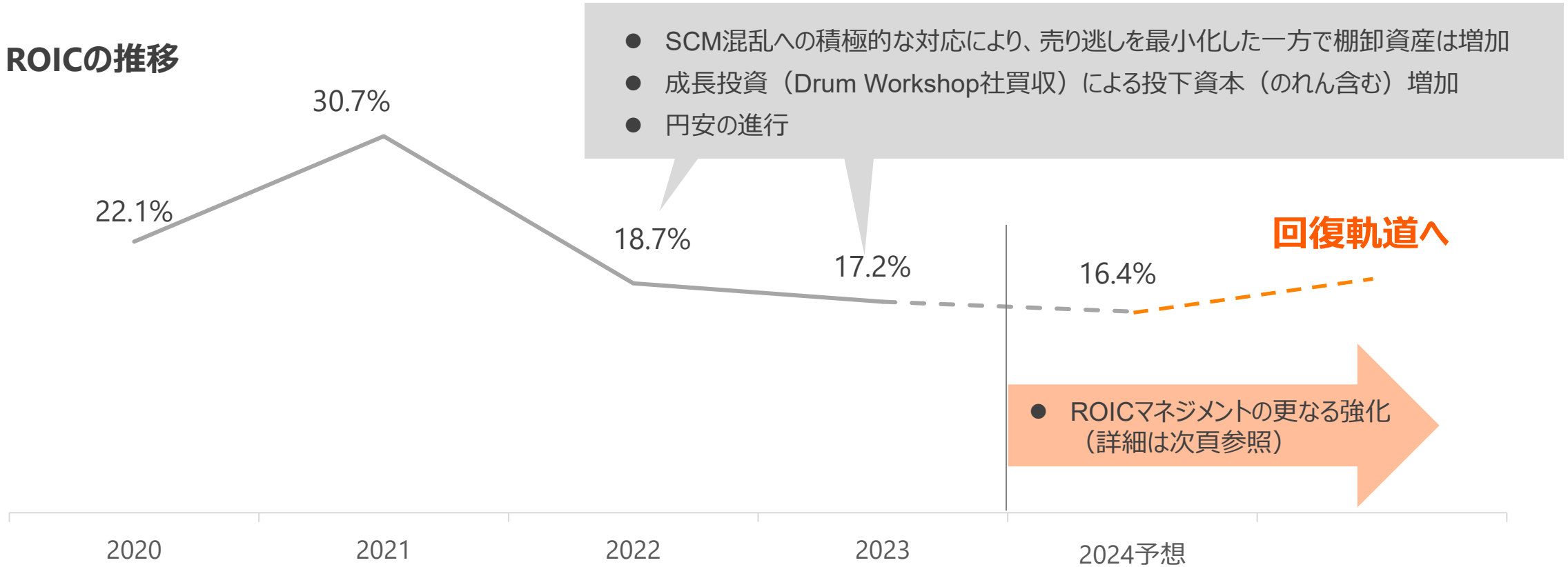
ROIC = NOPAT（税引後営業利益） ÷ 投下資本（運転資本+固定資産、期首期末平均）

PBR = 期末株価 ÷ 一株当たり純資産

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応② 課題と取り組み

- 高い資本効率性を維持しているものの、近年の危機対応や成長投資によりROICは低下傾向
- ROICマネジメントの更なる強化により改善に取り組む

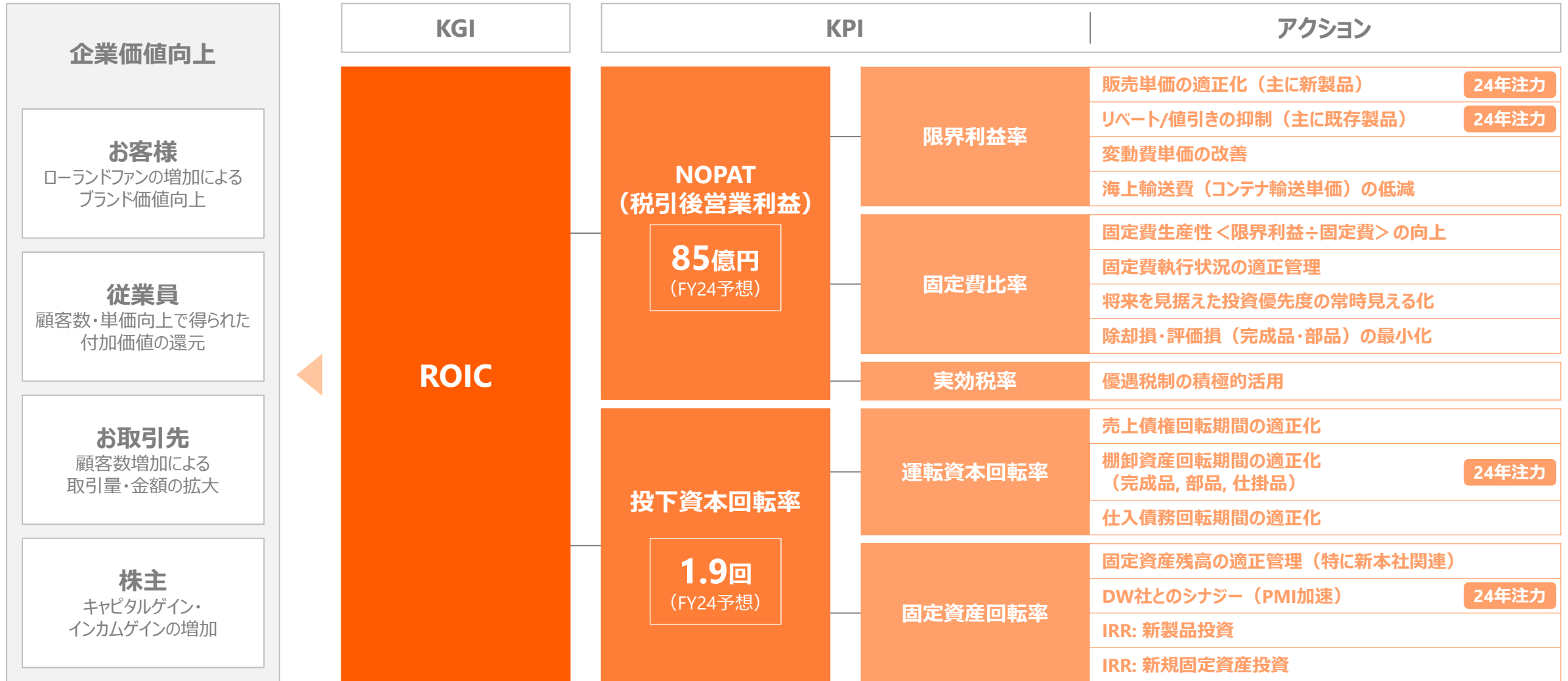
ROICの推移



ROIC = NOPAT（税引後営業利益） ÷ 投下資本（運転資本+固定資産、期首期末平均）
WACC = 6~8%程度

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応③ ROICツリー

- アクションごとの責任者を明確にし、着実なPDCAを実現するモニタリング体制で実行



将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。